

2020年12月吉日

各医療機関長 様

埼玉県合同輸血療法委員会
代表世話人 石田 明
埼玉県合同輸血療法委員会・輸血業務検討小委員会
委員長 塚原 晃

「赤血球不規則抗体保有カード」アンケートご協力をお願い

埼玉県合同輸血療法委員会は、平成17年に厚生労働省から発出された通知に基づき、埼玉県・血液センター及び医療機関の代表者によって平成21年に設置された委員会です。

輸血療法では不規則抗体の存在が溶血性副作用につながることから、「37°Cで反応する臨床的意義（副作用を起こす可能性）のある不規則抗体が検出された場合には、患者にその旨を記載したカードを常時携帯させることが望ましい」と「輸血療法の実施に関する指針」に記載されています。これを受け、2015年12月に同委員会から埼玉県内共通の「赤血球不規則抗体保有カード」作成協力を各医療施設に依頼したところ、2018年度までに40施設から1162件のカードを発行していただきました（同年度アンケート結果より）。

そこで今回、「赤血球不規則抗体保有カード」（輸血関連情報カードを含む）の発行数、活用状況、問題点等を把握するために再度アンケートを実施することにしました。また、同カードの普及には患者さんと関わる機会が多い看護師さんの協力が重要であることから、看護師向けアンケートを追加しました。いただいたご意見等をもとに同カードのさらなる活用を検討したいと思いますので、ぜひご協力をお願いします。なお、看護師向けアンケートは輸血に関わりの深い看護師さんに記載いただけると有難いです。同封した看護師向けチラシは、看護師さんに不規則抗体カードについて知っていただくために作成した資料です。ご活用いただければ幸いです。

アンケートを別紙に用意しました。ご多忙中誠に恐れ入りますが、埼玉県合同輸血療法委員会ホームページ専用Webサイトにご入力、または同封しましたアンケート用紙にご記入の上、1月31日までにご返送くださるようよろしくお願い申し上げます。

<https://forms.gle/3gruSbsgxKL8t5kq8>

なお、2018年の調査結果は埼玉県合同輸血療法委員会ホームページ第10回埼玉輸血フォーラム報告3「埼玉県の不規則抗体カード発行の現状」をご覧ください。



【アンケート QR コード】